



湾岸・アラビア半島地域ニュース

カタール：エチレン増産開始

(1月8日現地紙)

1月8日、カタール石油化学(QAPCO)は、ハマド首長立会いのもと、エチレン生産の大幅増産(第2拡張)を正式に開始した。

1. 事業概要等

メサイード工業都市に同社が所有するエチレン工場の年間生産能力は、従来の52万5000トンから72万トンに拡大された(37%増)。

生産されたエチレンは主として、国内のQAPCO低密度ポリエチレン(LDPA)事業及び、QAPCO子会社のカタール・ビニール社(QVC)に供給される。過剰分については、インド及び東南アジア、西欧諸国に輸出される。

今回の拡張事業等により、カタールの石油化学製品生産量は、2012年までに、年間1800万トンに拡大、世界の主要供給国となる見通しである。

2. プラント拡張工事の経緯等

2004年3月、QAPCOはJGC(日揮)を主要契約者として、プラント拡張のEPC契約(注：設計、調達、建設を含む建設工事請負契約)を締結した。

総工費は2億2000万ドルであり、うち20%を仏トータル石油化学社が出資した。

拡張工事は、2007年7月に終了、非公式には既に増産が開始されている。

3. アティーヤ副首相兼エネルギー・工業相の発言

プラントの拡張及び増産によって、QAPCOの持株会社Industries Qatar及び事業パートナーのトータル石油化学社等には相当の利益が見込まれる。カタールの経済成長にも大きく貢献するだろう。

4. ムツラ QAPCO ジェネラル・マネージャーの発言

中国、インド両国に加え、バングラデシュ、マレーシア、台湾、エジプト、ヨルダンがQAPCOエチレンの市場となりつつある。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799